

新型コロナウイルス感染症の基本知識

Q.ウイルスってどうやって体に入ってくるの？

ウイルスは目や口、鼻から入ってきます。ウイルスが入ってくる方法は3つあり、それぞれごとに対策を行っていきましょう。対策をする際に、何のためにやっている対策なのか意識するとよいでしょう。



Q.症状がない人から感染することもあるって本当？

本当です！！

感染した人の6割は、症状がない人からの感染とされています！

Q.効果的な手洗いって？

最低15秒 出来れば30秒

親指のつけね、手首、手の甲、爪の間まで洗うのが大事です！

Q.マスクの効果は？

自分の感染を完全に防ぐものではありません。

自分の飛沫を飛ばさない効果、鼻や口を触る回数が減る効果があります。

➡ **他人を守る効果が高い。スタッフはできるだけマスクを着用しましょう。**

Q.フェイスシールドの効果は？

自分の飛沫を飛ばさない効果はマスクの方が優れています。

飛沫を前の方向に飛ばさない効果、自身の感染を防ぐ効果として目からの感染を防ぐ効果があります。

➡ **自分を守る効果が高い。**

Q.消毒用アルコールってどんなもの？

可能であれば、62%以上のアルコール、なければ55%以上でも大丈夫です。

Q.換気はどのくらい必要？

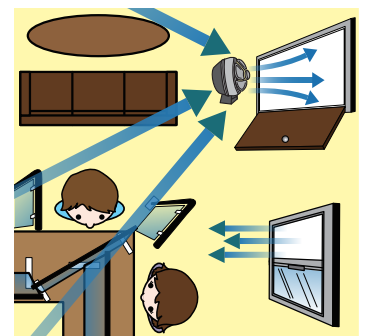
窓やドアを開ける換気；1時間に2回は部屋全体の空気が入れ替わるように窓／ドアの開放や換気扇による換気を行きましょう。

●参考

- 換気扇による換気；ひとり当たり30m³/時の換気量
- 換気が十分かどうかは二酸化炭素濃度(CO₂濃度)が目安となります。600未満を目指しましょう。

※多くのエアコンには換気機能がありません。

換気出来ている	450 ppm
換気不十分	700 ppm
換気出来ていない	1000 ppm



●入店対応

万が一に備え、
国の接触確認アプリ
ココア
「COCOA」を活用しよう



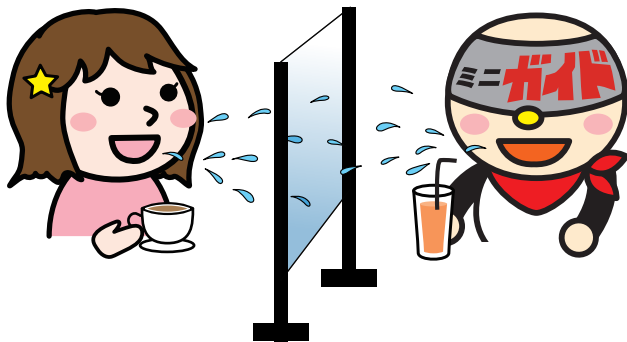
お客さんとスタッフの体温測定

発熱や咳、倦怠感等の症状がある方の
入店制限やスタッフの勤務制限



感染対策 その1 ひまっ 飛沫(つば)感染対策

- 人の飛沫が飛び散る距離(2m以内)での人との会話や咳、くしゃみが、目や鼻、口から体の中に入ることから感染します。



話す方向の2m以内は
飛沫が飛び散る

アクリル板等の設置が難しい場合は



アクリル板等で飛沫をさえぎる、または
人との距離をとり、誰もが飛沫を浴びない



お店での人と人のそれぞれの距離を確認してみよう！

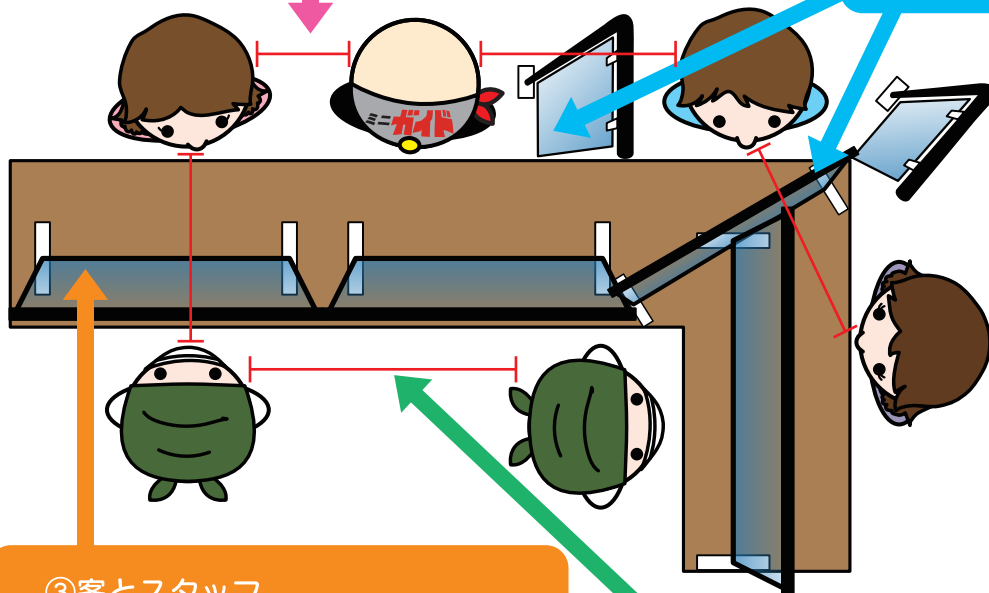
●カウンターの場合

最も効果のある基本対策

- 対面距離の確保
 - アクリル板等の設置
- ・有効度 ★★★

①客と客(普段マスクをつけない間柄)
アクリル板等は無くてもよい(客に確認)
例：同居家族等

②客と客(①以外の間柄)
2m以上確保できない場合は
アクリル板等の設置が必要です
例：友人、同僚、取引先等



③客とスタッフ
ひまつ
飛沫(つば)が届く距離です！
アクリル板等の設置が必要です

④スタッフとスタッフ
2m以上の確保に努める
休憩室等でも距離の確保を！

●アクリル板等設置の具体例



アクリル板は高さ80cm程度必要！
カウンターでは飲食物を提供するため
下部を25cm程度空けてもOK



お店での人と人のそれぞれの距離を確認してみよう！

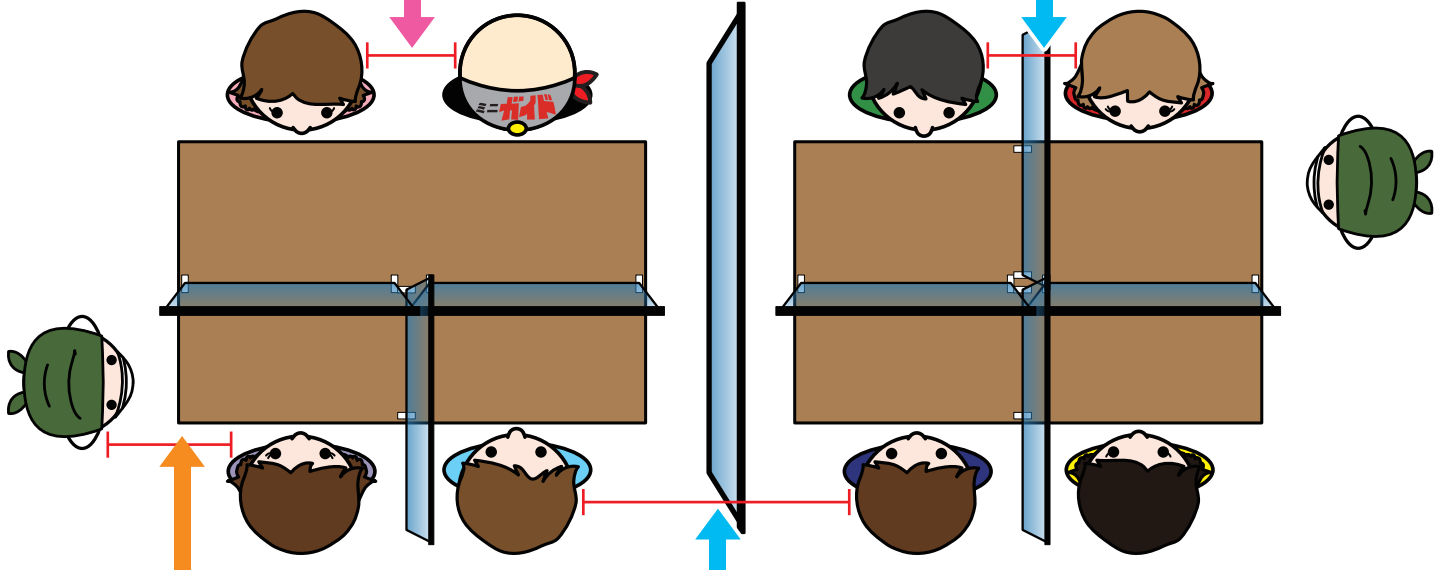
●テーブルの場合

最も効果のある基本対策

- 対面距離の確保
 - アクリル板等の設置
- ・有効度 ★★★

①客と客(普段マスクをつけない間柄)
アクリル板等は無くてもよい(客に確認)
例：同居家族等

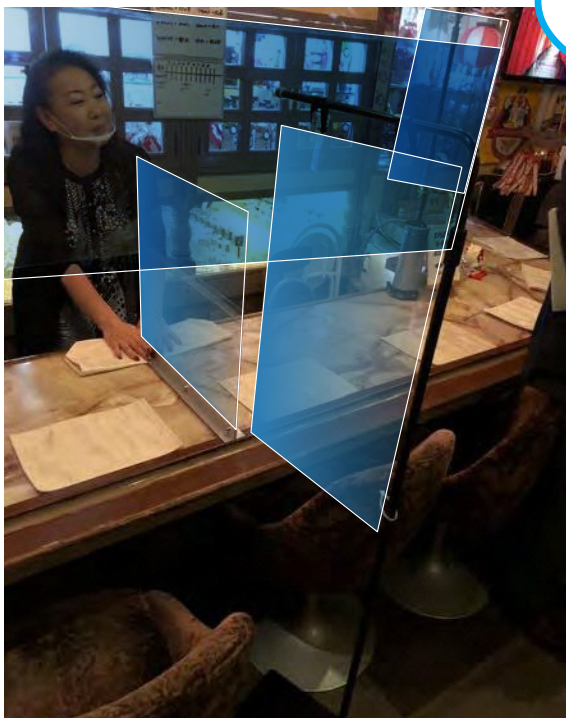
②客と客(①以外の間柄)
客と客の間には横や正面に座っても
大丈夫なようにアクリル板等を設置しよう
例：友人、同僚、取引先等



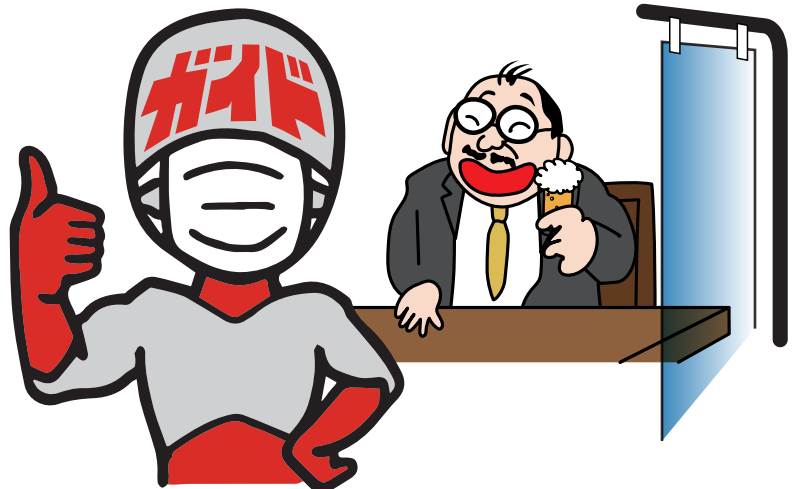
③客とスタッフ
注文を受ける時にも
距離を確保しよう

②客と客(①以外の間柄)
テーブルとテーブルの間も
ついたて等の設置または
2m以上を確保しよう

●アクリル板等設置の具体例



カウンター上だけでなく、
席の間にもあるとGOOD!



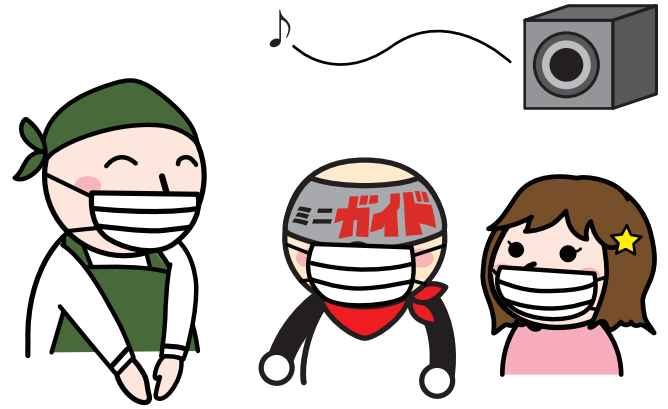
基本対策の徹底が難しい場合に感染するリスクを減らす対策

- マスクをできるだけ着用するよう指導
(適宜フェイスガード使用)

・有効性 ★★★

- 大声での会話が行われないよう
BGMや機械の効果音等を最小限に調整

・有効性 ★★★



カラオケを利用する店舗

- カラオケを利用する場合の対策

ひまつ
飛沫(つば)感染対策(マスクの着用、アクリル板等の設置、歌う場所の指定、顔の向き)

大声を出すことにより、飛沫が沢山飛び散る。
飛び散った飛沫からの飛沫感染を防ぐために、
アクリル板等の設置、歌う場所の指定や、顔の向き、
マスクの着用が有効。
また飛び散った飛沫からの接触感染を防ぐために、
飛び散る範囲を狭めることが必要。
その後の消毒する範囲が少なく済む。



・有効性 ★★★

ついたて等による対策

- ついたて等による対応

個室での対応が難しい場合は
高さ180cm位のついたて等を設置し
飛沫を防ぐ。
(十分な効果のある隙間のない素材)

- アクリル板等がない場合

客を横や正面ではなく
斜め向かいに座って頂く。

